

# 第67期事業報告書

(自 : 令和5年4月1日 至 : 令和6年3月31日)

株式会社 札幌振興公社

# 目 次

## I 会社の現況に関する事項

	頁
1. 事業の経過及び成果	1
2. 対処すべき課題	2
3. 設備投資及び資金調達の状況	2
4. 財産及び損益の状況	2
5. 主要な事業内容	3
6. 主要な事業所	3
7. 従業員の状況	4
8. 重要な親会社及び子会社の状況	4
9. 主要な借入先及び借入額	4

## II 会社の株式に関する事項

1. 株式会社が発行する株式の総数	4
2. 発行済株式の総数	4
3. 株主数	4
4. 株主	4
5. 会社の新株予約権等に関する事項	4

## III 会社の役員に関する事項(附属明細書記載事項を含む)

1. 取締役及び監査役の氏名等	5
2. 役員の報酬等の総額	5
3. 社外役員の主な活動状況	6
4. 社外役員の報酬等の総額	6

# 事業報告

## I 会社の現況に関する事項

### 1. 事業の経過及び成果

令和5年度の事業の経過につきましては、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行したことを受け、その影響は少しづつ緩和され、国内観光需要及びインバウンド需要については、コロナ禍前までには至っていないものの回復基調で推移したため、観光事業を中心に来場者数及び売上高が前年より増加する結果となりました。

このような状況の中、不動産賃貸事業につきましては、引き続き堅調な売上で推移したことにより、令和6年度より開業予定の北8西1再開発事業に係る不動産収入により前年度と比較し増収増益となりました。

駐車場事業につきましては、新幹線建設工事によりレールパーク札幌駐車場の営業が令和5年10月を以って終了したことに伴い、前年度と比較し減収減益となりました。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、上記の通り新型コロナウイルスの影響が緩和し、来場者数の回復が進んだため、前年度と比較し増収増益となりました。

飲食事業につきましては、令和5年4月にテレビ塔レストラン「ザ ガーデン サッポロ」を開業し、同じく新規開業いたしましたテレビ塔のビアガーデンとあわせて好調に推移いたしましたが、当事業に係る初年度経費負担が大きく、前年度と比較し増収減益となりました。

事業別概況は下表の通りとなっており、事業全体の経常収入は3,214,451千円、経常支出は3,138,796千円、当期の経常利益は75,655千円であります。

### 事業別概況

事業別の経常損益につきましては、次のとおりであります。

(単位：千円)

区分		収入	支出	うち減価償却費	経常損益
不動産賃貸	不動産	1,178,814	880,033	382,111	298,781
駐車場	直営駐車場	時間・定期駐車場	246,936	191,731	55,205
	駐輪場 ※	札幌駅・大通周辺駐輪場管理	124,868	121,286	3,582
大倉山	直営事業	索道他	134,462	184,389	△ 49,927
	ジャンプ競技場 ※	施設管理・利用料金・売店	285,113	304,224	△ 19,111
藻岩山	索道・売店・道路・ロッジ	726,924	598,216	133,048	128,708
料飲	飲食	レストラン・カフェ・食堂	504,952	557,363	△ 52,411
一般管理部門		12,382	301,554	9,209	△ 289,172
合計		3,214,451	3,138,796	606,691	75,655

(注)1. ※は指定管理者としての業務となっております。

(注)2. 札幌市から受託した文書保存センターにつきましては一般管理部門に含めております。

(注)3. 経常損益以外では、特別損失として、藻岩山ロープウェイの鋼索など各部門の固定資産除却により11,761千円の損失を計上しております。

## 2. 対処すべき課題

令和5年度の経済状況は、新型コロナウイルスによる影響が緩和され、国内及びインバウンド需要が増加した一方で、円安に伴う物価の高騰などマイナス要因も重なったため、景気の回復基調は緩やかなものとなりました。

このような状況の中、不動産賃貸事業については新たな事業による収入源の確保に努めて参ります。令和6年度に開業を予定しております北8西1地区再開発事業については、各権利者との交渉の結果、その床を当社が賃借し転貸することにより、当初計画していなかった大幅な増収を実現いたしました。

既存施設につきましては、現在、大谷地アドバンシービルにおいて、駐車場の一部を貸し事務所スペースへ改修する工事を計画しており、更なる収益性の向上に努めて参ります。

また、駐車場事業につきましては、令和5年度にて事業を終了いたしましたレールパーク札幌駐車場の減収分は大きな影響がありますが、札幌市から受託しております指定管理事業の札幌駅・大通周辺自転車等駐車場管理業務等含め、既存施設の効率的な運営を継続し、充実した市民サービスの向上に努めて参ります。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、安全第一の事業運営を行いながら、今後も観光需要の回復が一定程度見込めるところから、適切なタイミングでのPRやイベントを実施するなど、効果的な誘致と集客に努めて参ります。

飲食事業につきましては、令和5年に開業いたしましたテレビ塔レストラン「ザ ガーデンサッポロ」と、既存施設の藻岩山レストラン「ザ ジュエルズ」、大倉山レストラン「ヌーベルピース大倉山」の3レストランを一体とし「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」と銘打った新たなブランディングを行い、観光事業と連動した企画展開や広告宣伝に活用し、PRと集客施策を実施して参ります。

## 3. 設備投資及び資金調達の状況

### 1) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資の総額（リース資産を含む）は、205,688千円で、その主なものは次の通りです。

ザ ガーデン サッポロ 内装・空調設備等改修工事	83,736千円
ザ ガーデン サッポロ 廚房調理器具・店内家具等一式	25,262千円
藻岩山ロープウェイ えい索交換工事	30,700千円

### 2) 資金調達の状況

当期中に調達した資金の総額は、430,000千円で、内訳は次のとおりです。

北8西1地区再開発（さつきた8・1）事業資金	430,000千円
------------------------	-----------

## 4. 財産及び損益の状況

	第64期 (令和2年度)	第65期 (令和3年度)	第66期 (令和4年度)	第67期 (令和5年度)
売上高(千円)	2,097,136	2,125,658	2,780,835	3,166,903
営業利益(千円)	△ 548,073	△ 361,549	15,041	107,429
経常利益(千円)	△ 552,941	△ 287,478	35,815	75,655
当期純利益(千円)	△ 581,498	△ 288,655	32,448	62,485
1株当たり当期純利益(円)	△ 5,252.72	△ 2,607.45	293.11	564.43
総資産(千円)	13,011,486	12,798,475	12,763,810	12,870,931
純資産(千円)	2,577,392	2,288,736	2,321,184	2,383,670
1株当たり純資産(円)	23,281.83	20,674.37	20,967.48	21,531.92

(注)1. 記載金額は千円未満を、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は小数点第2位未満をそれぞれ切捨てて表示しております。

(注)2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算定しております。

(注)3. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数に基づき算定しております。

## 5. 主要な事業内容

- (1) 不動産の賃貸（宮の沢ターミナルビル、白石ガーデンプレイス他）
- (2) 駐車場の経営（宮の沢駐車場、大谷地東駐車場他）
- (3) 札幌市ジャンプ競技場等の管理運営（指定管理者）
- (4) 大倉山ジャンプ競技場リフト・売店の経営
- (5) 藻岩山ロープウェイ・売店・観光道路の経営
- (6) 藻岩山スキー場ロッジの経営（食堂、レンタルスキー他）
- (7) 札幌市札幌駅周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (8) 札幌市大通周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (9) レストランの経営（ザ ジュエルズ、ヌーベルピース大倉山、ザ ガーデン サッポロ他）
- (10) 損害保険代理業

## 6. 主要な事業所

名 称	所 在 地
本 社	札幌市中央区北12条西23丁目2番5号（SDC北12条ビル4階）
宮の沢ターミナルビル (防災センター)	札幌市西区宮の沢1条1丁目16番地1他
白石ガーデンプレイス (防災センター)	札幌市白石区南郷通1丁目南22番4
セレスタ札幌 (防災センター)	札幌東区北12条東7丁目6番地他
大倉山ジャンプ競技場	札幌市中央区宮の森1274番地
藻岩山ロープウェイ	札幌市中央区伏見5丁目3番7号他
藻岩山スキー場ロッジ	札幌市南区藻岩下1991番地
駐 輪 場 (札幌駅周辺)	札幌市中央区北5条西5丁目7番地（札幌55ビル1階）
駐 輪 場 (大通周辺)	札幌市中央区南1条西2丁目（西2丁目線地下）
ザ ガーデン サッポロ	札幌市中央区大通西1丁目（さっぽろテレビ塔3階）

## 7. 従業員の状況

(令和6年3月31日現在)

区分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
正社員（事務職・技術職）	51名	41.3歳	11.7年
正社員（専任職・再雇用・嘱託）	91名	41.1歳	5.8年
契約社員	2名	35.0歳	0.8年
合計	144名	—	—

(注) 上記以外の従業員は、臨時社員 11名、パート 77名（実雇用人数）であります。

## 8. 重要な親会社及び子会社の状況

### 1) 親会社の状況

札幌市は当社株式の 88.08% (97,504 株) を保有しており、当社は札幌市の第三セクターであります。

当社は、札幌市から土地等を賃借し、宮の沢ターミナルビル賃貸事業等の不動産賃貸事業及び宮の沢駐車場等の駐車場事業並びに藻岩山ロープウェイ等の観光事業を行っております。

また、札幌市の指定管理者制度により、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務について指定管理者として指定を受けております。

### 2) 子会社の状況

該当はありません。

## 9. 主要な借入先及び借入額

(令和6年3月31日現在)

借入先	借入残高
(株) 北洋銀行	2,475,729千円
(株) 北海道銀行	1,440,903千円
(株) 日本政策金融公庫	200,000千円
合計	4,116,632千円

## II 会社の株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 120,000株
2. 発行済株式の総数 110,704株
3. 株主数 6名
4. 株主

株主名	出資状況	
	持株数	出資比率
札幌市	97,504株	88.08%
(株)さっぽろテレビ塔	6,240株	5.64%
札幌商工会議所	4,160株	3.76%
(株)北洋銀行	1,600株	1.44%
(株)北海道銀行	800株	0.72%
北海道瓦斯(株)	400株	0.36%
合計	110,704株	100.00%

## 5. 会社の新株予約権等に関する事項

該当はありません。

### III 会社の役員に関する事項

#### 1. 取締役及び監査役の氏名等

(令和6年3月31日現在)

地 位	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況
代表取締役社長	浦田 洋	
専務取締役	村田 祐一	
常務取締役	元木 朗	
常務取締役	中目 晃嗣	
常務取締役	見澤 和顕	
取締役	阿部 雅司	
取締役	青山 智則	札幌市経済観光局 観光・MICE担当局長
取締役	白濱 光人	(株)さっぽろテレビ塔 代表取締役社長
取締役	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
取締役	会田 朋生	(株)北海道銀行 常務執行役員本店法人営業部本店長
取締役	八木 渉	北海道瓦斯(株) 常務執行役員
監査役	愛須 一史	弁護士法人水原・愛須法律事務所 弁護士
監査役	上田 恵一	上田恵一公認会計士事務所 公認会計士 税理士

(注) 1. 中目晃嗣氏、見澤和顕氏は、令和5年4月1日常務取締役に就任いたしました。

(注) 2. 中田雅幸氏、石田裕一氏は令和6年3月31日取締役を退任いたしました。

(注) 3. 取締役青山智則氏、白濱光人氏、廣田恭一氏、会田朋生氏、八木渉氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

(注) 4. 監査役愛須一史氏、上田恵一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

#### 2. 役員の報酬等の総額

(単位：千円)

区 分	人 数	報酬等の額	報酬限度額
取締役	8名	47,181	60,000
監査役	2名	1,608	4,000
合 計	10名	48,789	-

(注) 報酬限度額は、取締役については令和2年6月29日開催の株主総会で、監査役については平成20年6月27日開催の株主総会で承認されております。

3. 社外役員の主な活動状況

区分	氏名	活動状況
取締役	青山智則	当社の業務執行者から独立した立場で必要に応じて、取締役会において議案の審議に必要な発言を行っております。
	白濱光人	
	廣田恭一	
	会田朋生	
	八木渉	
監査役	愛須一史	主に弁護士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。
	上田恵一	主に公認会計士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。

4. 社外役員の報酬等の総額

(単位：千円)

社外役員の報酬等の総額	人 数	報酬等の額
	4名	2,616